

1 社会・治安情勢

(1) テロ情勢等

ザンビアにおいては、テロ組織・反政府組織や国際的なテロ組織の関連組織による活動は確認されていない。しかしながら、周辺国（モザンビーク、ソマリア等）のテロ組織がザンビアに浸透してくる可能性について、治安当局は警戒を強化している。現在のところザンビアにおけるテロの脅威は高くなく、また、日本人が標的にされる可能性も高くはない。しかしながら、偶発的な事件・事故の際の巻き添えとなる可能性は十分に考えられるため、注意を怠らないことが重要である。

(2) 一般治安・犯罪状況等

日常生活に影響を与えるような政情不安や治安情勢の悪化は確認されていない。一方で、今年に入ってからコッパーベルト州などで中国系やインド系住民に関わる強盗被害が散発している。

(3) 社会情勢

2020年から世界的に続く新型コロナウイルス感染症対策はザンビアにも影響を及ぼしたが、ロックダウンを実施することはなく、右による治安情勢への影響は見られない。また、2021年8月に行われた大統領総選挙では、各政党関係団体による選挙活動の活発化に伴い、全土において政党間の抗争や当地治安当局との衝突が発生したが、その後平和裡に政権交代が実現し、平穏を取り戻している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ザンビアはアフリカの中でも比較的安全な国と言われている一方で、殺人や強盗などの重犯罪は日本よりも多く発生している。また、邦人がよく利用するショッピングモールにおいても窃盗、置き引き、ひったくり、スリ等の一般犯罪や車上荒らしが発生している。

(2) 邦人被害事案

当該事件の発生は認知していない。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 4月2日夜間、東部州チパタにおいて、独開発協力事務所（German Development Cooperation office）に不審者が侵入し、現金400,000クワチャとパソコンなどの電子機器を盗み逃走した。犯人は外柵の穴から敷地に侵入し、事務所の屋根から室内に侵入し犯行に及んでいる。この際、夜間警備員が襲撃され重傷を負った。

イ 6月9日朝9時、ルサカ州ルサカ市のザンビア政府施設（Zambia Institute of Advanced Legal Education: ZIALE）の駐車場において、車両3台からパソコン3台、携帯電話5台や現金を含む合計38,000クワチャ相当の貴重品が盗まれる車上荒らしが発生した。この際、車両3台は何かしらの工具を用いて鍵がこじ開けられていた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

問題とされる情報に接していない。